キャラクター名
藍堂 大斗（らんどう・だいと）

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ キュマイラ	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	会社員
オプショナル	エグザイル	年齢	50（外見32）	性別	男性
覚醒	死	衝動	飢餓	初期侵食率	48 %
出自	名家の生まれ	経験	失恋	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	5	1	1			7
感覚	1	0	0			1
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	60
行動値	3
(非装備時)	3
戦闘移動	8
全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	4		調達	7	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリスタルシールド	白兵	7r	12	0		装備中、他の武器は装備不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
Dロイス『機械化兵』					受けるHPダメージを常に-10点
UGNボディアーマー		8			※未購入 12（購入）/18（常備化）

合計装甲：	8	合計回避：	0

所持品	
フォーマル	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
機械化兵	P	N		
叢雲美小夜	P 純愛	N 悔悟		
羽々斬威海	P 尊敬	N 劣等感		
UGN VIP	P 庇護	N 猜疑心		
ボマー	P 慈愛	N 脅威		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 16	残り財産P： 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
異形の刻印	5	-	常時	-	自身	自動	-	
効果： 最大HP+[LV*5] 基本侵蝕値+3								
崩れずの群れ	★	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果： カバーリングを行う								
命のカーテン	2	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果： 《崩れずの群れ》でかばう範囲を10mにする								
竜鱗	2	3	リアクション	至近	自身	自動	-	
効果： 装甲値+[LV*10]								
衝撃相殺	2	-	常時	至近	自身	自動	リミット	
効果： 《竜鱗》を使用したメインプロセス中、ダメージを[LV*5]点軽減。侵蝕率基本値+4								
サードウォッチ	★	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果： その場にいなくてもシーンに登場できる								
殺意の壁	2	2	オート	至近	単体	自動	-	
効果： 相手が攻撃を行った時使用。メインプロセス中相手の攻撃力を-[LV*3]する								
タッピング＆オンエア	★	1	メジャー	視界	効果	自動	-	
効果： デバイス無しに情報を送受信								
十徳指	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果： 指先を工具に変形させる								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

きさらぎ学園に通う女子高生、十束いすずの義父。
いまいち不器用だが優しく誠実な性格で、いすずには毎日呆れられながらも信頼を置かれている。
食べることが大好き。

【以下 "Reveal the Labyrinth"クリア後情報】

幼い頃万貫市に引っ越してすぐに友人となった少女、群雲 美沙耶に一目惚れしてしまう。
同じく美沙耶に惚れていた一つ年上の羽々斬 威海とは良き友人であり、好敵手だった。

勉強も運動もこなせる才能を持ち、中学、高校と柔道部に所属し、主将を務めるまでに上り詰めた。
しかし学校一の成績を取り、剣道で県大会に優勝した羽々斬の姿を見、「今はまだ美沙耶に相応しい人間ではない」と告白を諦める。
武道の腕を買われ、高校を出て警察官になった羽々斬を追うように警察官を目指し、大学へ入学。国家試験を経てキャリア警官となる。

美沙耶と付き合っていた羽々斬に、「お前はそれで良いのか」と問われ、
「貴方に敵わないことは、もう分かりきってます。貴方より昇進できたら、その時に彼女に気持ちだけ全て打ち明けます」と返す。
羽々斬はこれを受け入れ、美沙耶にプロポーズ。美沙耶は了承し、2人は結ばれる。

彼らの新婚の熱も冷めやらぬ中、羽々斬（警部）と直属の部下となった藍堂（警部補）に、不可解な連続不審死の捜査が命じられる。
一見何の関わりも無いように見えた死者たちの情報から、
羽々斬は「前の被害者が深く思い入れを抱いていた相手が次の被害者となる」という仮説を立てた。
同僚たちからは一笑に付されたその仮説を信じたのは、彼の優秀さを強く信じていた藍堂、ただ一人だった。